

# 国立競技場

2012.5.6  
Vol.591



代代木競技場水泳教室外部委託化へ  
霞ヶ丘競技場飲食売店 4業者へ委託

霞ヶ丘競技場・代代木競技場 各種工事報告

「国立競技場50年の歩み」発行

ロンドンオリンピック通信

オリンピックパークの移り変わり



歴代オリンピック  
ポスター展示中

NATIONAL STADIUM

蹴



## 国立代々木競技場 フットサルコートが

# いよいよ グランドオープン!



クラブハウス完成予定地

前号でお知らせしましたが、国立代々木競技場の園地（オリンピックプラザ）に設置されたフットサルコートが、クラブハウスの完成を待ち、いよいよ6月1日よりグランドオープンします。1月5日からのプレオープン期間中は、レンタルコートの営業を始め、2月19日から3月末にかけては、レンタルコートと並行して土日、祝日を中心にフットサル&フットボールクリニックの無料体験会及び大会を開催しました。



### レンタルコート

登録団体も徐々に増え、土日を中心に利用も広がっていますが、4月以降は利用終了時刻を16:00から23:00に延ばし、平日夜の利用率の増加を見込んでいます。

また、2011年度以降、JFA（公益財団法人日本サッカー協会）主催の大会で、8人制サッカーが導入されることになったこともあり、4面あるフットサルコートの

うち、第2コートから第4コートをつないで8人制サッカー用にも使用でき、より多くの利用者の要望に応えられる仕様となっています。

グランドオープン後のレンタルコートの利用時間、料金は次のとおりです。

利用時間・料金 (1面/1時間)	平日	12:00 ~ 19:00	19:00 ~ 23:00
		9:00 ~ 12:00 7,000円	10,000円
休日	9:00 ~ 23:00		
	16,000円		

### フットサル・フットボール クリニック及び大会

新設したフットサルコートを広く認知していただくため、加えて、利用者の声を聞かせていただくために、2月19日から3月末にかけて、一般初級者向け、ファミリー向け、小学生向けなどの各種無料体験会を実施し、多くの方々にご参加いただくことができました。そして4月からは、レンタルコート利用者及び体験会参加者の貴重なご意見を参考に、グランドオープンより一足先に、フットサル&フットボールのクリニック及び大会を本格的にスタートさせまし

た。教室には、未就学児、小学生、中学生の対象ごとに、体力と技術の向上を促すための定期開催のクリニックや、成人を対象として、技術指導に重点を置いたクリニックなど様々なプログラムを用意しています。

### クラブハウス

女子更衣室にはシャワー室6、洗面台4、トイレ3、男子更衣室にはシャワー室16、洗面台4、トイレ7があります。特徴として、男子更衣室は2か所の出入口、トイレを挟んで相対する2部屋、アコーディオンカーテンで区切れるシャワー室からなり、ホームアンドアウェイ方式の試合に対応できる仕様となっています。



### 最後に

国立競技場の施設貸出しの第一目的であるスポーツ利用の促進に資し、また、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを行うことを目的に設置されたこのフットサルコートがより一層利用していただきやすい施設となるよう、管理運営に励んでいきます。



# 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場 トラック走路 1991 年以來 21 年振りの改修

上塗り後

陸上競技場は、1991 年世界陸上開催前に大改修が行われ、現在のウレタン舗装材『レオタンαエンボス』になりました。施工より 21 年の間、カール・ルイス選手やマイク・パウエル選手が世界記録を樹立するなど多くのトップアスリートが競技を行ってきました。ウレタンは耐久性に優れた舗装材ですが、長年の利用による表面の摩耗は避けられません。そこで表面に現れていない潜在的な不具合を含め、平成 23 年 1 月に調査を実施しました。

調査の結果、下地アスファルトの劣化や物性的な異常は見られませんでした。使用頻度に伴うウレタン表層の摩耗がやはり見られました。

陸上競技は、100 分の 1 秒を競う競技であり、ウレタンの損傷が記録や大会運営に大きな影響をもたらすことがあることから、平成 23 年 12 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日にオーバーレイ工法を用いての工事が行われることとなりました。

工事名称：国立霞ヶ丘競技場陸上競技場ウレタン走路その他  
改修工事

施工業者：日本体育施設株式会社



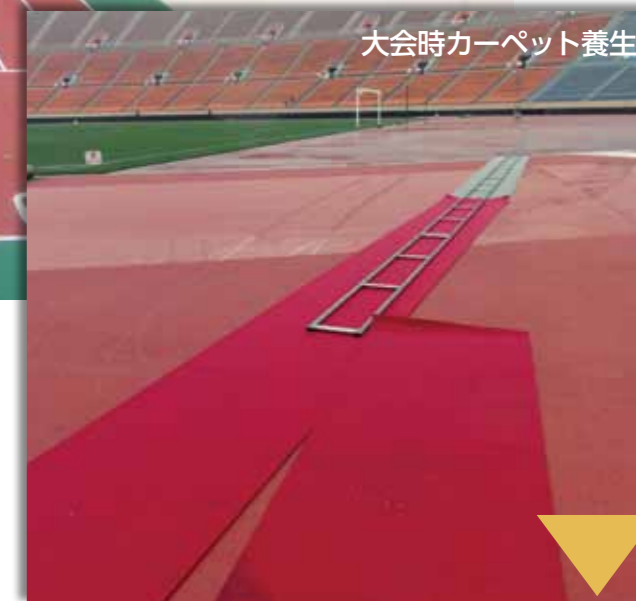
スタート部分補修



ラインマーキング



完成後



大会時カーペット養生

## ●ウレタン舗装オーバーレイの施工方法

オーバーレイ工法とは、以下のような手順で作業が行われます。

### ①ウレタン切削

乗用式の乾式ウレタン切削機で、ウレタン舗装を切削し、摩耗した表層を剥がします。棒高跳び・やり投げの助走路及び踏切位置は、スパイクによる損傷が大きいため、ウレタン部分を全て取り除き、基礎の部分から埋め直す作業が行われました。

### ②上塗り・エンボス層

上塗り層は、ウレタン材をレーキとコテを用いて舗設します。上塗り層硬化後、散水により不陸（表面がガタガタしている状態）のチェックを行い、不陸や段差が見受けられた場合はウレタン材を塗布するなどして平坦に仕上げます。

全ての修正が終わると上塗り層表面にプライマー（接着剤）を散布し、その上にウレタン材をローラーを用いて舗設し、エンボス形状に仕上げます。

### ③トップコート

エンボス層にプライマーを散布します。その上にトップコート材（トラック表面の温度上昇を抑制する）をローラーを用いて塗布します。

### ④ラインマーキング

最後に、最新の規則に準じてラインマーキングを塗布します。走路以外でも、各種蓋の剥離や欠損、縁石の歪みなどが見られ、部分的な補修等も行われました。

## ●イベントにおける陸上競技場の養生方法について

本工事は、例年開催されているゼロックススーパーカップやラグビー日本選手権などのイベントを開催することを条件に実施されました。工事中の走路では、洗い流せない汚れ・切り傷・凹み等がその後の作業に影響がでるため、イベント開催時は従来の養生に加え徹底した養生をお願いしました。

陸上競技場は本来、陸上競技、サッカー、ラグビーのスポーツ競技用の構造で設計されていますが、イベントによっては大型仮設物の設置や、資材搬入出の重車両の進入があります。ウレタンの下地はアスファルト舗装のため、高温になると軟化し、重車両の通過と共に歪みが生じます。また、重量物の長時間の放置や、先端が鋭角な物（ハイヒール靴を含む）等による凹み、荷物の運搬によるひっかけや落下による引き裂き・切り傷も多く見られます。

今回のウレタン走路改修を機に、様々な用途に対応した養生方法等を見直していかなければなりません。そして、良好な状態が保たれた陸上競技場で新たな記録が生まれることを願います。



## 代々木競技場 水泳教室外部委託化へ

## 霞ヶ丘競技場 飲食売店 4業者へ委託

### 国立代々木競技場室内水泳場 教室等運営の外部委託を導入

#### ●「競争性拡大」の方策の検討

前回の包括的業務委託で委託費が上昇した理由に、応札する業者が少なかったことが要因として挙げられます。今回の業務委託方法の検討では外部コンサルタントを導入し、前回の発注にて生じた要因分析、対象業務の見直し等を行い、「競争性の拡大」を図るための具体的方策を専門の見地から議論しました。民間事業者により魅力的な案件として認められ、参加意欲を拡大するにはどうすべきか？ といった点を集中的に議論した結果、以下のポイントに行き着きました。

- ① 委託期間を3年間から5年間に変更
- ② 代々木競技場室内水泳場他、民間事業者の創意工夫による稼働率増加に対する「収入インセンティブ」の設定
- ③ 代々木競技場室内水泳場等の有料事業運営業務については、民間事業者との協議制とする
- ④ 企業グループが組みやすくなるよう、専門性の高い芝生管理業務や一般廃棄物処理業務を除外へ
- ⑤ 再委託の扱いを一部緩和し、再委託先が入札時点で未定の場合には、選定方法を明示できるよう緩和
- ⑥ 総合評価点の算定について、価格点を重視する方向に見直し

- ⑦ 新規業者が参入しやすいよう、業務実績に関する配点を低めに設定
- ⑧ 入札公告から提案書提出期限までの期間の延長

今回の大きな変更点は、対象業務から専門性の高い業務を外すことも去ることながら、NAASHがあらかじめ定めた仕様どおりに業務を実施する「仕様発注」から、民間事業者に創意工夫の裁量を与える「性能発注」に変更した点です。民間事業者はNAASHが定めた要求水準書を維持できる前提において、更なる効率的・効果的な業務運営ができるのであれば、実現可能性のある改善提案を行うことを認めるものです。

このほか実施要項では民間事業者の責による施設の重大な支障（停電や漏水など）がないようサービスの質については「ゼロ目標」を定め、仮に事故等の重大な支障が生じた場合には、委託費の減額措置を行うという条項を新設しました。さらには「国立競技場利用のアンケート」を実施して、施設利用者の満足度を定期的に把握するとともに、実施要項にて設定した満足度が80%以上となることを確認し、顧客満足度向上策を互いに協議していきます。

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「NAASH」という）が保有する大規模スポーツ施設（国立霞ヶ丘競技場、国立代々木競技場、国立スポーツ科学センター）については、「公共サービス改革法」に基づき、内閣府の審議・承認を得ながら、包括的業務委託として施設の管理（管理の一部）を発注し、第1期（平成21年度～平成23年度の3年契約）が終了しました。第1期では、委託費が従前よりも上昇するという結果になったことから、平成24年度以降の第2期の業務発注では、「競争性の拡大とコストの低減」を最重要課題として内部で検討を行ってきました。

第2期包括的業務委託発注については、民間事業者の参加意欲拡大と業務拡大を主たる課題として取り組みました。主な概要を以下にご説明させていただき、特に国立代々木競技場室内水泳場で実施することとなった教室運営の外部委託化については、その実施に至る経緯や考え方について併せてご紹介します。

### 第2期大規模スポーツ施設包括的業務委託の検討にて

#### ● 代々木競技場水泳教室外部委託化へ

包括的業務委託第1期では、代々木競技場室内水泳場で実施する団体利用及び水泳教室について、NAASHが利用調整の上、民間事業者に受付・巡回・清掃業務（料金収受を除く）を委託してきました。今回は、両業務についてさらなる稼働率及び収益性の向上を目的として、民間事業者のノウハウを期待すべきとの観点から、団体利用運営と共に魅力ある教室等を提案していただく方式に変えました。提案に当たっては、NAASH及び民間事業者双方が稼働率向上等によるメリットを享受することから、過去の年間収入実績額から算定した収入額を上限値として定め、営業により上回った場合にはその額の50%をインセンティブとして委託費に加算して支払う仕組みを設けて意欲拡大につながるよう配慮しました。

平成24年度からは民間事業者を利用申込みの受付等全ての運営が移行するため、施設利用者へ過大な混乱を生じさせないよう、丁寧なる告知が重要となります。特にNAASHが委嘱してきました水泳指導員についても同様であり、包括的業務委託の新規発注前に説明会を開いて運営方針変更について理解を求めました。新規に移行することによって室内水泳場のサービス低下につながることを防ぐよう、民間事業者と入念なる打合せを行いながら慎重に対応していきます。

### 国立霞ヶ丘競技場飲食売店の営業委託

現在、国立霞ヶ丘競技場の飲食売店は、陸上競技場に7売店、秩父宮ラグビー場に4売店の計11売店があります。

両施設の飲食売店は平成20年度までは2業者による営業、平成21年度から平成23年度までは1業者による営業を行っていました。

平成24年度からは、顧客満足を第一としたサービス向上を図るための新しい試みとして、陸上競技場及び秩父宮ラグビー場の全11売店を3区分に分け、さらにケータリングカーの営業を加えた全4区分を、4業者に営業を委託することとなりました。複数業者にすることで各売店の個性を活かし、多様性のあるメニューの展開や、競合・相互作用を通して顧客満足を高める飲食売店営業が期待できると考えています。

新たな取り組みとして、様々な商品を販売する総合売店の他に、麺類やとんかつ等をメイン商品として販売する専門店を増やし、異なる売店をバランスよく配置をすることで多くのニーズに対応できる体制へ整え、また、ケータリングカーと直接契約をすることで大会に応じた出店数やメニューへの切り替えが可能となり、来場者及び主催者へのサービス向上へと繋がると考えています。

これら飲食売店の新たな営業体制が、国立競技場でスポーツを楽しむ付加価値となるよう取り組んでいきます。





# 霞ヶ丘競技場・代々木競技場 各種工事報告

## 国立代々木競技場受変電設備及び 非常用発電設備改修工事

平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 30 日の間、国立代々木競技場第一体育館・第二体育館・室内水泳場・会議室・駐車場等を休業し、高圧幹線ケーブルの引き換え及び、昭和 59 年から 27 年間使用した電気設備の更新を実施しました。

### 【工事概要】

受変電設備については第一体育館、第二体育館、ポンプ棟の電気室等の変圧器、閉鎖配電盤の大規模更新をしました。

非常用発電設備については、既設の発電設備 3 台を撤去し大型発電容量 (500kVA) 1 台を新設、加えて主電気室の電力監視装置には、監視用端末機を 2 台設置して安全確保の体制を整えました。

今後は、各種のイベント開催に際して高品質な電気を安定供給すると共に、各種変圧器を省エネ法特定機器に適合したトッランナー変圧器に更新したことにより、CO2 削減による地球温暖化の防止・地球環境の保護等、多少なりとも貢献できるのではないのでしょうか。

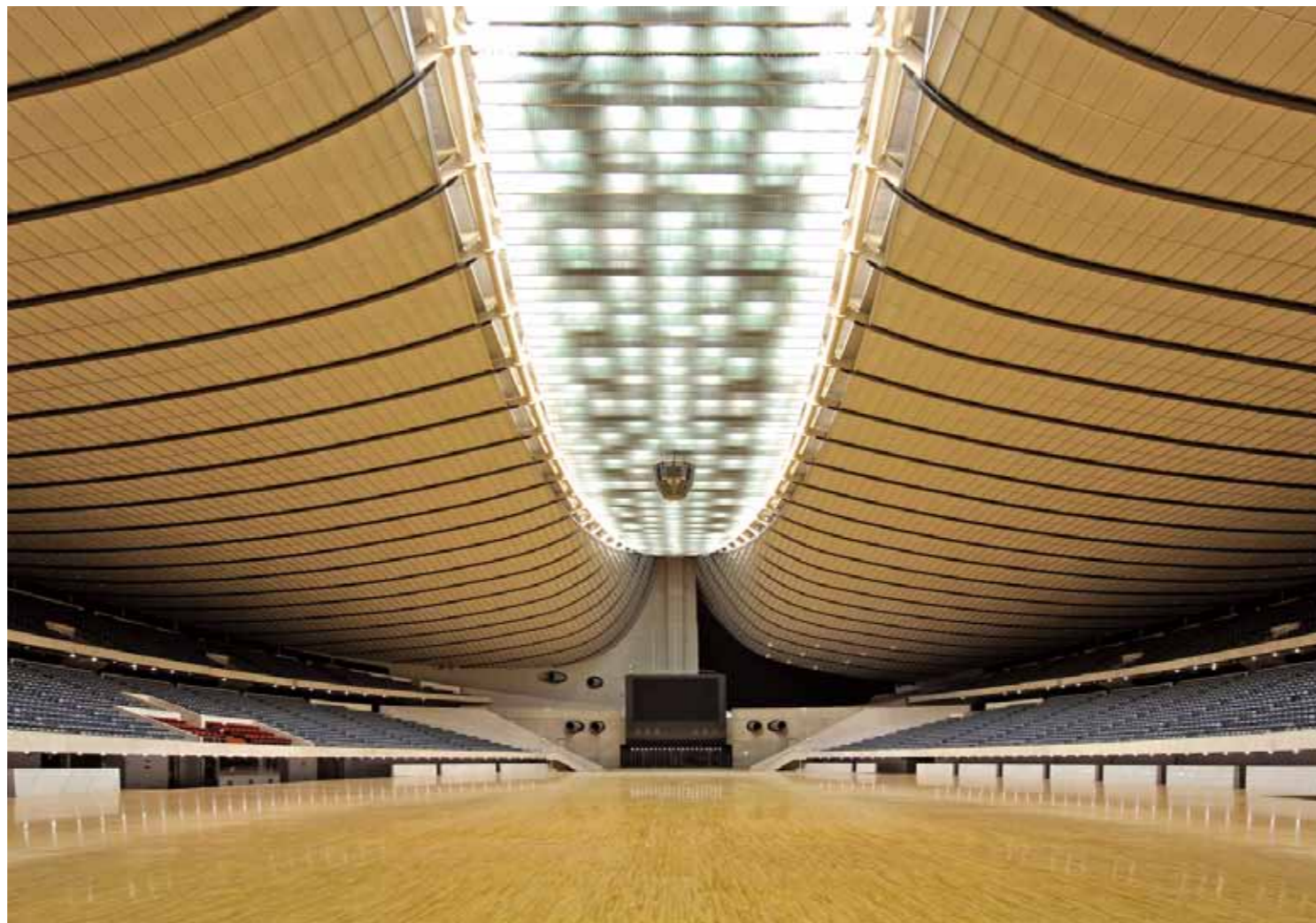
## 国立代々木競技場第一体育館 天井照明改修工事

(工期：平成 24 年 2 月 1 日～3 月 14 日)

代々木競技場第一体育館の天井照明は、平成 13 年の取り替え工事以後 10 年以上が経過しており、近年にいたってはアリーナ面の照度が著しく低下していたため、下記の 2 点を主な目的として天井照明の改修工事を実施しました。

- (1) 競技大会等に支障を来さないように適正な照度に回復すること。
- (2) 適正な照度を確保した上での節電対策ができること。

照度の回復及び節電対策ともに照明設備を改修することにより貢献できるものと考え、改修後の照度測定では、アリーナ全体の照度は改修前の約 2.5 倍以上



代々木第一体育館

(2,660lx) にもなり、初期照度とはいえ立派な測定値が得られました。

また、今後 10 年経過して機器の劣化及び前面カバーの汚れ等を考慮しても、改修前の 50% 増し以上の照度は十分に確保できるとの説明を設計者よりいただきました。

天井照明の照度が大幅に増したことにより、今後は催し物に応じた照度設定等数種類の点灯パターンに加え、節電対策としての考え方も多種に及ぶことでしょう。

## 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場照明塔 震災緊急安全対策工事

(工期：平成 23 年 7 月 4 日～平成 24 年 2 月 20 日)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、陸上競技場照明塔 (4 基) の鉄骨支柱と競技場躯体

体の接続部分が損傷したため、構造の専門家による点検を実施した結果、今回の地震による破損は比較的少ないが、今後大規模な地震が起きた場合に倒壊する恐れがあることから、早急に補強工事を行って耐震性能の向上を図ることになりました。

スタンド躯体から鉄骨で支柱を囲み、支柱の中央部分にはプレート補強を施しました。コンクリートのヒビ割れはエポキシ樹脂注入を行うとともに欠損部にはエポキシ樹脂モルタル充填を実施し、外側にコンクリートの剥落防止プレートを取り付ける補強を行いました。

また、照明塔の塗装が剥離・腐食していることから、塗装工事も同時に実施しました。塗装材は、超耐久・超低汚染 (汚れが付着しにくく、なお定着しにくい、雨水により汚れが除去しやすい) 等性能が高いものを使用し、ライフサイクルコストの低減を図りました。

## 『国立競技場 50 年の歩み』 を發行

1958 年の第 3 回アジア競技大会を直接の契機として建設された国立競技場は、2008 年に 50 年を経過しました。それと前後して、設立から 50 年という節目を迎え、時代や環境の変化に合わせて変遷を遂げている国立競技場の施設や運営の歴史を整理し、後世に伝えていくため、50 年史の発行の準備が始まりました。しかし、50 年という期間を整理する作業は想像以上に時間と労力を要することとなり、長い時間が経過してしまいましたが、今年 3 月、1 冊の本として発行いたしました。

『国立競技場 50 年の歩み』(以下『50 年の歩み』という) 作成のコンセプトは、第一に国立競技場の過去の記録を改めて整理しておくことと、何かを調べたいときにアクセスしやすい資料として作成することでした。このコンセプトに基づき、全 168 ページに、巻頭カラー写真、各年度の概要、国立競技場にまつわる様々なコラムや芸術作品の紹介、そして資料として年表等を盛り込んだ内容となっています。濃いグリーンの布張りによる表紙には、本紙 589 号でもご紹介した国立競技場の新しいロゴを配し、これまでの歴史と新たな息吹を合わせ持つような印象を与えています (発行部数 1,000 部)。

この『50 年の歩み』を作成する際に活躍したのは、ご覧いただいている広報紙「国立競技場」のバックナンバーです。1958 年 12 月に第 1 号が発行され、今日まで絶えることなく続いている「国立競技場」(2004 年 4 月号まで月刊として発行され、その後隔月発行されています) がなければ、この 50 年史を作成することはできなかったと言っても過言ではありません。広報紙の紙面を飾る各時代の出来事や想いが、今回発行した『50 年の歩み』に凝縮されています。

現在、国立競技場(陸上競技場)は大規模改修が検討されており、『50 年の歩み』はこのタイミングで発行されることとなりましたが、次の 50 年に向けて日本のスポーツ振興のために新たな歴史を作っていきたいと思っております。そして、これから先、国立競技場の未来を見据えつつ、様々な状況の変化に対応しながらこれまで歩んできた記録として、またそれを語り継ぐ素材の一つとして、この『50 年の歩み』を多くの方々に活用していただければ幸いです。





2012年 ロンドンオリンピック通信

## オリンピックパークの移り変わり

今夏のオリンピックはロンドンが通算4回目のホストシティとして迎えるオリンピックとなります(中止1回を含む)。

過去のオリンピックが開催された市内西部とは異なり、今回は市内東部をメイン会場として大会が開催されます。開閉会式が行われるメイン競技場や選手村、多くの競技会場が位置するオリンピックパークは、このロンドン東部にあるストラットフォード駅に隣接する「ロウワー・リー・バレイ(リー・バレイ川下流)」という地域に建設がされています。面積約2.5平方km、サッカーフィールド357面にもなる広大な敷地の中をリー・バレイ川が南北に縦断しています。

以前は長年にわたって織物の染色、酒造、化学プラント工場等が位置し19世紀の終わり頃からは敷地の大半が産廃場として利用されてきました。工場への電力を供給する電線が空にかかり、それを支える多くの鉄塔が建ち並んでおり、リー・バレイ川のほとりにもゴミが溢れていました。その結果、敷地の75%の土壌が重化学工業の排出物により汚染される状態となっていました。

北京オリンピックの前年、2007年から始まった会場の建設は、まず敷地内にある多くの建物等を解体し、散らばるゴミを廃棄、そして土壌を洗浄することから始まりました。その後、浄化した土の下に多くの送電線等ライフラインを埋設し、競技場を建設する準備を整えました。北京オリンピック直前から競技会場の建設が始まりました。2011年2月のペロドローム(自転車競技会場)を皮切りに、2011年8月から始ま



バスケットボール会場は大会終了後に解体・移設される

るオリンピックパークでのテスト大会に向けて、次々に競技会場が完成していきました。2012年5月には全ての競技会場でテスト大会が行われることとなっています。リー・バレイ川の整備も行われ、河岸をはじめとした敷地内には5万株以上の植物、千本以上の樹木が植えられ、その数は今後も増やされます。それらと平行して敷地内に選手村も建設され、世界中からの選手・観客を迎える準備が着々と進んでいます。

オリンピック終了後にオリンピックパークは、エリザベス女王の名を冠した「クイーン・エリザベス・オリンピック公園」として再整備されます。一部の競技施設は移転されますが、残った施設を中心として、水と緑溢れる地域の文化、スポーツ、ビジネス、観光等多くの分野においてロンドン東部の中心となることが期待されています。ロンドン中心部から西の地域と比較して開発が遅れてきた東部地域は、オリンピックを契機にその風景を大きく変えようとしています。



8万人収容のメインスタジアム

スポーツ博物館

歴代オリンピックポスター展示中

ロンドンオリンピックも数か月後に迫り、気分も盛り上がっているのではないのでしょうか。

オリンピック大会の顔として欠かせない物の一つに、大会ポスターがあります。

現在、当博物館では収蔵品の整理を行っており、その一環としてオリンピックポスターの収蔵実態調査を行いました。まず、収蔵庫内に散在していたポスターを探し出し1か所に集め、大会ごとに分類・整理します。さらに、ポスター一点一点を写真撮影した後、データ化してまとめました。貴重な資料だけに、破損しないよう作業は慎重に進められました。調査の結果、1927年のミュンヘン大会から2008年の北京大会まで、冬季夏季大会合わせ

て、約500種類ものポスター(レプリカは含まず)が収蔵されていることがわかりました。

残念ながら、これらすべてを公開することはできませんが、博物館エントランスでその一部をご覧いただけます。



す。入口すぐの左手上部に飾られた4点の東京大会のポスターは、初めてポスターの主演として写真が使用された迫力ある作品です。また、複数枚の連作という形をとったのも東京大会からです。

それ以降の大会では、多彩な種類とデザインのポスターが製作され、各国の著名なデザイナーやアーティストがデザインしたアートポスターや、競技ごとに作られた競技ポスターなど様々あります。歴代のオリンピックポスターは、単なる大会ポスターとしてだけではなく、芸術作品として鑑賞するに相応しい作品であり、そこにはデザイン文化の変遷を垣間見られることもできます。エントランスの壁を彩るポスターはどれも個性とデザイン性にあふれる素晴らしい作品ばかりですので、お気に入りの一枚を探してみてください。

今、博物館では展示・収蔵品のデジタルアーカイブ化を進めています。いずれ全てのポスターを皆様にご覧いただけるよう、今後も取り組んでいきます。

国立登山研修所

大日岳で12年振りの研修会開催

大学の山岳部をはじめ、登山活動を行うクラブ等のリーダーとリーダー候補者を対象にした大学生登山リーダー冬山研修会を、国立登山研修所及び大日岳周辺を会場として、3月14日から7日間の日程で開催しました。

20名の研修生は、2日間「雪氷学の基礎」「登山の医学」「雪崩捜索」の講義を受講し、班毎に分かれて登山研修所周辺の雪上やスポーツクライミング用人工壁で雪崩捜索法の基礎技術やロープ操作等の基本技術を習得し、大日岳に向けて入山しました。



冬山前進基地周辺でのテント設営

入山中は、めまぐるしく変化する天候の中で、雪崩回避のための地形判断や積雪期の読図、積雪観測の手法、テント設営等の生活技術を学びました。

入山三日目、大日岳登頂を目指して出発しましたが、濃霧のためホワイトアウトとなり、大日岳頂上まであと約100メートルの地点で登頂を断念し引き返しました。悔しさのあまり涙を流す研修生もあり、冬山の厳しさを知ることによって一人一人が登山指導者として成長しました。

下山後の最終日には、「冬山の気象」の講義後、新人部員に対する登山技術の伝達をテーマに班毎に意見を発表し、自分達のクラブ活動を振り返りながらリーダーの役割についてともに考えました。

研修生は、7日間の研修を通して、リーダーとして登山活動を行うために必要な心構えや判断能力、そして、確実な登山技術を身に付け、安全に活動することの大切さを学びました。

なお、大日岳での研修は、2000年3月の大日岳雪庇崩落事故後12年振りの開催でした。



## 国立競技場

サッカー	AFC チャンピオンズリーグ 2012 グループマッチ FC 東京 vs プリスベン・ロアー (5/2)
陸上	第 91 回関東学生陸上競技対校選手権大会 (5/12・13・19・20)
その他	L'Arc ~ en ~ Ciel 20th L' Anniversary WORLD TOUR 2012 THE FINAL (5/26・27)
サッカー	プレナスなでしこリーグ 第 9 節 日テレ・ベレーザ vs INAC 神戸レオネッサ (6/10)
サッカー	Jリーグディビジョン 2 第 19 節 東京ヴェルディ vs FC 岐阜 (6/13)
陸上	NISHI Athletic MEET 2012 (6/24)
サッカー	Jリーグディビジョン 1 第 9 節 FC 東京 vs 柏レイソル (6/27)
陸上	秩父宮賜杯第 44 回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 (6/30)

## 秩父宮ラグビー場

ラグビー	HSBC アジア五カ国対抗 2012 第 4 戦 日本代表 vs 香港代表 (5/19)
------	---

## 代々木第一体育館

体操競技	第 51 回 NHK 杯 兼 第 30 回オリンピック・ロンドン大会 日本代表決定競技会 (5/4~5)
コンサート	T.M.R.LIVE REVOLUTION'12 -15th Anniversary FINAL- (5/12~13)
コンサート	ソイカラ presents KARA 1ST JAPAN TOUR 2012 [KARASIA] (5/16~17)
チャ リーディング	第 6 回 チャリーディング アジア インターナショナル オープン チャンピオンシップ (5/19~20)
ファッション ショー	Girls Award by CROOZ 2012 SPRING/SUMMER (5/26)
コンサート	THE FIRST JAPAN ARENA TOUR "SHINee WORLD 2012" (5/30~31, 6/2~3, 23~24)
チャ リーディング	第 14 回 関東チャリーディング選手権大会 兼 日本選手権地区予選 (6/9~10)
フットサル	Fリーグ 2012 powered by ウィダー in ゼリー (6/16~17)

## 代々木第二体育館

バスケット	平成 24 年度関東高等学校女子バスケットボール選手権 (5/5~6)
バスケット	第 61 回関東大学バスケットボール選手権大会 (5/7~13)
卓球	関東学生卓球 春季リーグ戦 1 部リーグ (5/15~16)
バスケット	第 46 回関東大学女子バスケットボール選手権大会 (5/17~20)
レスリング	2012 レスリング女子ワールドカップ (5/25~27)
新体操	コントロールシリーズ最終戦 (6/9)
空手	全関東大会 W・K・O ワールドカップ選抜戦 (6/10)
バスケット	第 52 回関東大学バスケットボール新人戦 (6/11~14)
レスリング	明治杯平成 24 年度全日本選抜レスリング選手権大会 (6/16~17)
バスケット	関東実業団連盟創立 80 周年平成 24 年度関東実業団バ スケットボールリーグ戦 (6/23~24, 30)

## 西が丘サッカー場

サッカー	関東大学サッカーリーグ (5/12)
サッカー	プレナスチャレンジリーグ (5/13)
サッカー	関東社会人サッカーリーグ (5/20)
サッカー	なでしこリーグ (5/27)
サッカー	総理大臣杯全日本大学トーナメント (6/9~10)
サッカー	関東大学サッカーリーグ (6/17・23・24)

平成 24 年度  
国立競技場  
スタジアムツアー開催！

平成 24 年度のスタジアムツアーは、国立競技場内にある  
「秩父宮記念スポーツ博物館」からスタートします！

## 参加者

開催前月の中旬以降に、下記ホームページにて  
お知らせ・お申込み受付をします。  
(例：5 月のツアー日程は 4 月中旬以降にお知らせ)

開催日程  
開催時間

20 名  
予約制・先着順

## 参加料

大人 500 円  
小人 (高校生以下)  
300 円  
幼児 無料  
※当日現金でお支払いいただきます。



お申し込みは、  
『秩父宮記念スポーツ博物館・図書館』  
ホームページから！

<http://naash.go.jp/muse/>

問合せ先：秩父宮記念スポーツ博物館 TEL 03-3403-1159

スケジュールは変更になる場合がありますので、  
ホームページ等で必ずご確認ください。  
<http://www.naash.go.jp>

国立競技場 (☎ 03-3403-1151) 国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171)  
秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881) 西が丘サッカー場 (☎ 03-5963-0203)

## 編集後記

緑豊かに五月晴れが広がるこの季節、4月のソワソワした気持ちも落ち着き、ほっと一息つかれて  
いる頃でしょうか？ それとも、新年度からの熱意を胸に一息つく間もなく忙しさの真只中で  
しょうか？ とまかかも、皆様にご覧いただいている本号、今年度より紙面をリニューアルしまし  
た！ 昭和 33 年の発刊以来、長年愛着のあった縦書きを離れ、真新しい横書きスタイル。広報紙「国  
立競技場」はゆっくりと少しずつ形を変えながら、これからも国立競技場、JISS、登山研修所の歴  
史をコツコツと綴っていきますので、皆様、すえなが〜よろしく願います。(〇)

## 国立競技場 第 591 号

2012 年 4 月 30 日発行 (隔月発行)

●編集・発行

独立行政法人日本スポーツ振興センター (NAASH)

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 10 番 2 号

tel 03-3403-4151 (国立競技場 運営調整課)



●編集・発行人 堀部 定男

●編集協力 株式会社ジャニス



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。